

PRF **広報部** がゆく **特別版**  
 ~皆に感動を届ける映画監督~

# 映像作家・今村彩子さんと小川廉青年部長のフリー対談

2012年の奈良県デフフェスティバルのゲスト映像作家・今村彩子さんと青年部長との対談  
 今回、映画とは少し違う視点から対談しました

**小:** 今、一日の中で仕事に費やしている時間はどれくらいなのでしょう?  
**今:** 自分でやっている仕事なので、やろうと思えばいくらでもできます。やはり好きな仕事でもあるのでむしろ起きている間ずっと、っていうこともありましたが、それはあまり自分にとって時間のとりにすぎになり、かえって集中できない状態を招くので避けようと考え現在は1日7時間を目標に仕事を終えるようにしています。また、内容も1時間半作業しては休憩を繰り返し、自分の時間も大切に、集中力を落とさないように保ち、プライベートとのメリハリを持つためにはその手法が進めよう、と思い実践しています。  
**小:** 自分の時間とはどのようなことをしているのですか?  
**今:** 実は新しい趣味として「料理」を始めました。今までは母に頼まれお使いに行ったりなどは、気の進まないことでしたが、実際に自主的にするようになって家族が食べて喜んでくれる姿をみて、作る楽しさを覚えました。初めは方法がわからなかったり失敗したりしていましたが、回数を重ねることでコツがつかめてきました。

上手く進まない中でだらだらと仕事をする、そして納得のできるものを作ることができないという悪循環を防ぐいい方法だと思いますし、先ほども言ったように相手の立場になり考えることでより自分の喜びになり返ってくる、素晴らしい流れを生むことにもつながりますから。  
**小:** そうですね。僕も仕事中、似たように仕事に有用な技術をいかにして見つけられるかを重点に仕事をするのではなく、お客様に対してどうすれば喜んでもらえるか、満足してもらえるか、を考えて仕事に取り組んでいます。  
**今:** 私は20代の頃は、何かと自分自身で解決しようと無茶しがちでした。しかし、いつか自分の力だけで…、という考え方で生きていくと無茶がくる。30代になった今はそうではなく、「自然の流れに任せる」というように捉えるようになりました。自分の力だけではできないこともたくさんあると思います。ありのままにすることで周りへの感謝も怠りなく感じることができるようになり、ストレスも溜まらなくなってきました。  
**小:** そうですね。個の力だけでなくそ

をより活かしていければ理想的ですね。  
**今:** そうですね。頑張っていきたいと思います。お互い頑張りましょう。  
**小:** 今は映画以外のお仕事はされているのですか?



**今:** 最近で言うと9月からフリーペーパー・月刊ボランティア情報誌「ボラみみ」にて連載エッセイ「夢は叶えるもの」というものを連載させていただいています。  
**小:** そうなのですか、すごい! 私も細々ではありますが、毎月県聴協の機関紙に掲載型のコラムを掲載してもらっています。  
**今:** 私の場合は1年間という限りがある、毎月掲載となるので全12回ということになります。その中で伝えられるように「何を載せたいか」を組み立て「生い立ち」として小〜高などの学生時代の話や「仕事のこと」「作品のこと」などをテーマとしました。  
**小:** 毎月毎月執筆しているんですか?  
**今:** 本当は毎月書きながら掲載していくものですが、私の場合テーマも流れも決めて絞ってしまっていたので、お盆休みに集中して12回分すべてを書き切りました。

**小:** すごい! 僕もそういうところを見習わなければ、いつも毎月のコラムも提出が遅れてしまいがちで…。  
**今:** (笑) 私はおそらく短期集中タイプだと思います。短い間に大量の仕事を一気に片づけています。  
**小:** エッセイを書くきっかけとなったのはなんだったんですか?  
**今:** ろう者の友人に「このようなことがあるけど、どう?」と勧められて、その後担当者と会って、「お願いしたい」と依頼される形になりました。将来、映画制作のことをまとめて本を出版できたらいいなど考えているので、いい機会だと思っています。



**小:** 映画にとどまらずいろいろな方面で活躍されているんですね。頑張ってください、心から応援しています。今回は映画とは少し違う側面からお話しさせていただきました。これもまた読む人に何かしらのエネルギーになると思います。本当にありがとうございました。このあたりで終わりたいと思います。  
**今:** ありがとうございます。



**小:** 料理、いいですね。どのような出来事にも言えることですが、相手に喜んでもらい、それがまた何倍にもなり自分のもとへ返ってくる。より自分の喜びへとつながりますよね。  
**今:** そうですね、自分のために何かをする、というのと誰かのために考えて何かをする、というのではやはりモチベーションが違いますよね。大好きな映画を作るという仕事ですが、作業が

のようにして自分のまわりの人であったり環境であったりが左右すると思うんですね。なので、本当に「自然に任せる」ということはとても大切なことのように思います。  
**今:** これは仕事だけではなく、プライベート・恋愛にも言えることだと思います。生活すべてに影響があるように感じますね。  
**小:** 映画作りの中でもそのような事柄

## -PROFILE- 今村 彩子氏 - 映像作家 -

名古屋出身 / Studio AYA 代表  
 愛知県立豊橋蟹学校高等部卒業  
 愛知教育大学教育学部卒業  
 大学在籍中にカルフォルニア州立大学  
 ノースリッジ校に留学し、  
 映画制作・アメリカ手話を学ぶ。

